

産学連携メニューの要点

制度としてご用意している産学連携メニューです。各制度の違いについて表に示します。

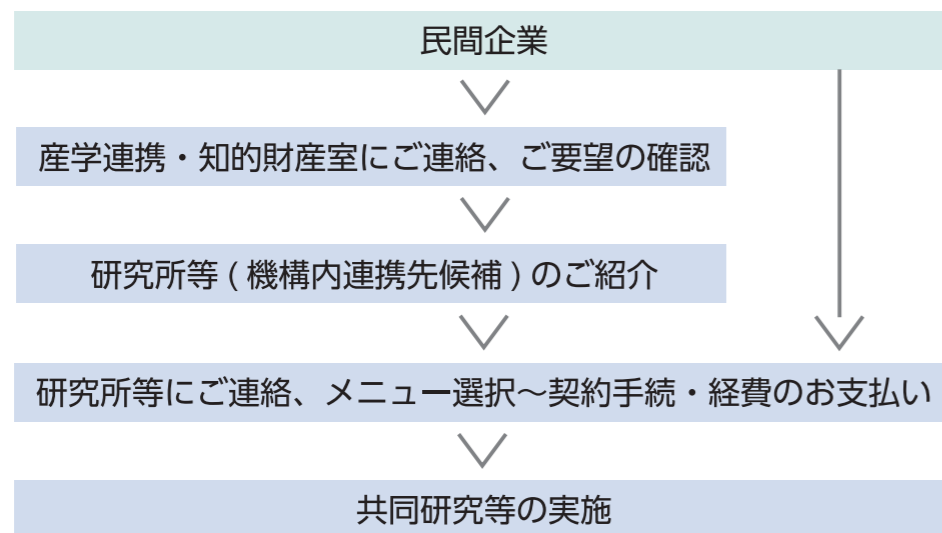
メニュー	1	2	3	4	5	6
メニュー	学術指導	受託研究	受託研究員	共同研究	共同研究部門	知財ライセンス
概要	民間企業等から機構が委託を受け、機構が専門知識に基づき、指導及び助言を行う	民間企業等から機構が委託を受け、機構が研究及び事業を行う	民間企業等の現職技術者または研究者が、機構において研究の指導を受ける	共通の課題について機構と共同して研究を行う	民間企業等との共同研究を実施することを目的に研究組織を設置運用する	機構の知的財産を活用する
機構側の役割・貢献	研究及び技術上の専門知識に基づき指導及び助言する	研究課題に沿って研究を行う	研究及び技術上の専門知識に基づき指導する	研究課題について研究を共同で行う	共通の課題に関する研究を実施し、当該研究の進展及び充実を図る	知的財産の実施を許諾する
知的財産の取扱い	共同研究、共同研究部門では成果は企業と機構の原則共有になります 成果は企業に優先的にライセンスします					

詳細は情報・システム研究機構の研究協力に関する規程（<https://www.rois.ac.jp/open/21.html>）をご参照下さい。



産学連携の手続きの流れ

ご要望・お問合せは、情報・システム研究機構本部の産学連携・知的財産室または各研究所等にご連絡下さい。下図の流れにより各メニューの手続きを進めます。

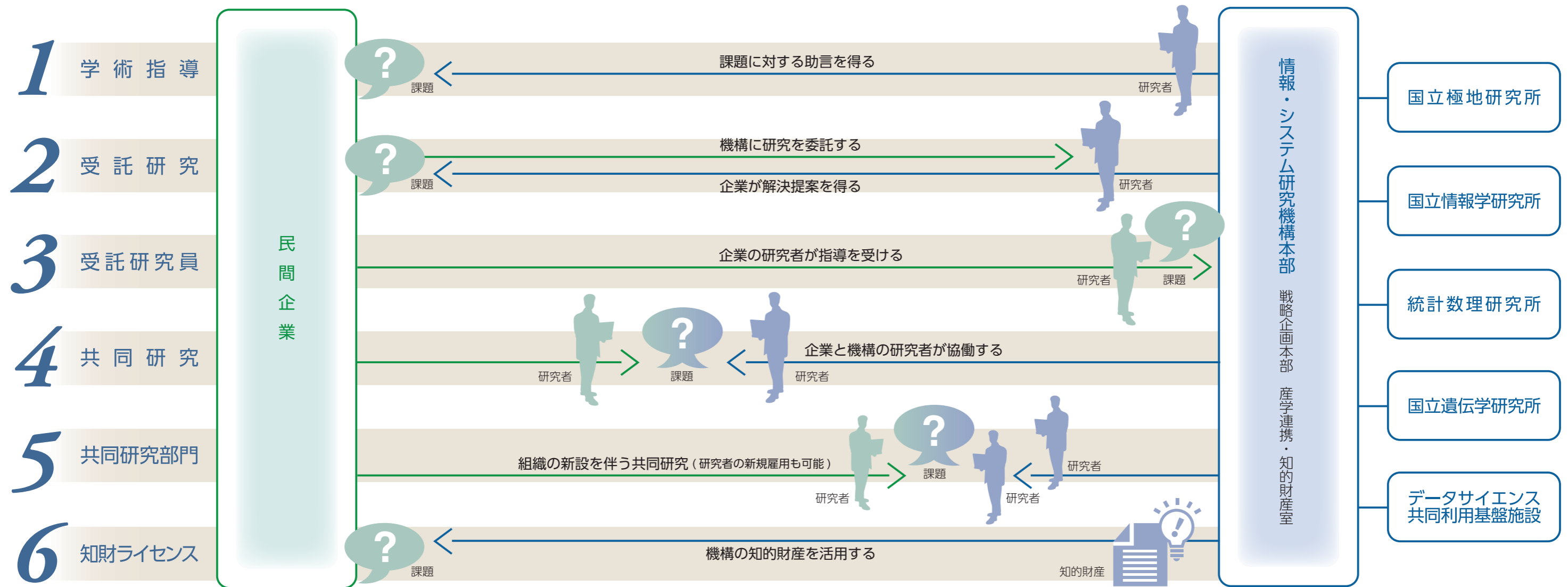


民間企業の課題解決に向けた6つの産学連携メニュー

(※)

(※) 地方公共団体等の官公庁も含まれます。個人向けには対応していません。

わたしたち情報・システム研究機構本部の戦略企画本部「産学連携・知的財産室」では、研究所等と協力して研究成果を社会へ還元する取り組みを推進しています。ここでは、企業の皆様がお持ちの課題を当機構の研究者等が解決に向けて取り組む産学連携の6つのメニューの概要をご紹介します。



企業の皆様へ

情報・システム研究機構の国立極地研究所、国立情報学研究所、統計数理研究所、国立遺伝学研究所、データサイエンス共同利用基盤施設（DS施設）は、中核的研究拠点として全国の研究者コミュニティと共同利用・共同研究を通じて連携し、極域科学、情報学、統計数理、遺伝学についての国際水準の総合研究を推進するとともに、21世紀の重要課題である生命、地球、自然環境、人間社会などの複雑な現象・問題を、情報とシステムという視点から捉え直し、データサイエンスを推進することにより分野の枠を越えた融合的な研究を行い、解明・解決することを目指しております。

さらに、当機構では産業界を含む社会が直面する緊急かつ重要な課題の理解・解決に関連した応用研究を実施しており、研究成果を広く社会還元する取り組みの中で、産業界や官公庁との連携を積極的に推進し、社会に貢献することを強く希望しております。

本資料では民間企業向けの産学連携メニューをご紹介します。本メニューをご活用いただくことにより、課題解決に取り組む企業の皆様と当機構との新たな協働の機会が生まれ産学連携の強化を通して社会に貢献できれば幸いです。



情報・システム研究機構長 藤井 良一

各研究拠点が連携して
企業の皆様に支援していきます。



国立極地研究所

〒190-8518 東京都立川市緑町 10-3
<https://www.nipr.ac.jp/>

国立情報学研究所



〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2
学術総合センター
<https://www.nii.ac.jp/>

情報・システム研究機構本部

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-3-13
ヒューリック神谷ビル 2階
<https://www.rois.ac.jp/>

データサイエンス共同利用基盤施設



〒190-0014 東京都立川市緑町 10-3
<https://ds.rois.ac.jp/>

統計数理研究所

〒190-8562 東京都立川市緑町 10-3
<https://www.ism.ac.jp/>



国立遺伝学研究所

〒411-8540 静岡県三島市谷田 1111
<https://www.nig.ac.jp/>